

# 塵光寺

2015  
3  
No.32



## 塵光寺風景

### 若連中の獅子舞稽古

麻績会館では連日、春祭りに向けての稽古が行なわれている。笛の音に合わせ、ずっしりと重い頭を操る舞子達は、本日に向け心も体も仕上げていきます。ぜひ多くの地区の皆様に見てほしいと思います。



獅子花の色付け

皆様方には日頃より壮年団、若連中の活動にご理解頂き、誠に有難うございます。

今年の春祭りは、4月4日宵祭り、4月5日日本の日程でとりに行います。道中は、獅子舞をはじめ、越後獅子・笛クラブ・麻績太鼓が練り歩きアクティブ座光寺による、屋台の出店もあります。

座光寺獅子舞の特徴である獅子曳きには、新5年生3人 梅王・木下陽生君（大堤） 松王・棚田 肇君（下羽場） 桜丸・萱間喜一君（共和）が務め、獅子を高岡森から麻績神社へと勇敢に導きます。

越後獅子には、地区内から、今牧静穂さん（宮の前） 佐々木宏美さん（万才）の2人が優美に務めます。

勇壮な春祭りに向けて

麻績神社若連中代表 牧野貴仁

獅子曳きに越後獅子共、お祭りに向け一生懸命稽古に励んでいますので、当日上手く出来ましたら、皆さんの温かい拍手喝采をお願いいたします。

又、獅子・笛・花作りも連日頑張つて稽古しています。

皆さん、本日には高岡森から麻績神社まで獅子が無事たどり付き奉納できますよう若連中一同力を合わせ頑張つていきますので、ぜひお祭りを見に来ていただき楽しんで下さいます。

そしてクライマックスの獅子花取りには勇気のある方は、安全に注意して頂き、特別な獅子花を取りに来て下さい。



年番地区の皆さんによる獅子花づくり（唐沢会所）

# 平成25・26年度自治委員会活動総括

## 2年間の総括

### 『座光寺は今ぞ黎明』

自治会長 湯澤 英範

今任期は、とても慌ただしい二年間でした。主な点に絞って、その経過を振り返り明日の座光寺を展望した。

#### リニアを見据えた地域づくり

25年8月「リニアを見据えた地域づくりの基本方針」という地域ビジョンが策定された。これはリニアの3km幅のルートが発表された時、「座光寺はリニアで全滅だ」と感じ、半年後の24年4月から一年半の精力的な取り組みと、延べ700人超の英知を集めて出来た代物である。

早速、市長さんに提出したところ、「住民の総意の方針は心強い、しっかり受け止め地域づくりを一緒に進めたい」と高い評価。更に、内容的にもマスコミ評価が高く誇れる出来栄であった。

住民自らの力で、リニア時代のあるべき姿をまとめ上げた座光寺の地域力は、捨てたものではないと言える。この方針が画餅となること

なく、地域づくりに活かされてこそ初めて評価されるもので、着実な基本方針の具現化を期待する。

#### リニア関連の基盤整備

JR東海は着々と準備を進め、この2年間で環境影響評価段階から、工事実施計画の認可、事業説明会そして中心線測量へと急ピッチに事を進めた。一方、関連道路整備の動きは鈍く、自治会として再三に亘り事業促進を要望した。26年10月ようやく、阿部知事が「リニア関連道路整備の考え方」を表明した。

その後、県は国道の改良とスマートICのアクセス道路の新設についての事業説明会を12月から3回に亘り開催、3月にはルートを絞り込むという荒業をやったのけた。

これで、スマートIC設置と併せてリニア関係のハード整備の全貌が見えてきた。多くの家屋と膨大な土地の提供が座光寺全域で展開するという大事業で、座光寺の土地利用に大きく影響することは必至である。今日までの平穏な生活環境を守るために、自

治会は先頭に立って対処しなければならぬ。

#### 恒川官衙遺跡

26年3月、恒川官衙遺跡が、国の歴史を語る上で重要な遺跡であるとして国史跡に指定された。多くの関係者のご同意により、国の史跡指定が実現したことに心より感謝します。恒川官衙遺跡は地域づくりの核として、地域と一体的な活用により座光寺の発展に繋げていくべきものです。

#### 2000年浪漫の郷づくり

リニア開通に向けて、数ある歴史資産や景観を活かして、都会から人々を呼び込もうとするのが2000年浪漫の郷づくりです。まちづくり先進地小布施の要人をして座光寺の方が素晴らしい宝があると言わしめた程の座光寺の歴史資産をどう生かすかがこれから大きな課題。26年6月に、2000年浪漫の郷委員会が立ち上がったが、まだまだ、活動は助走段階。一つ一つ実績を積み上げて、構想の実現に向けて、地域ぐるみで取り組んでいくことが大切である。

#### 女性役員の登場

25年度からの振興会議女性委員の意欲的な活動を評価して、27年度から女性の自治委

員が登場する。女性の持つ優れた力を取り入れて、この座光寺の黎明期に大活躍することを期待する。

長い間お世話になりました。

## 2年間の活動を顧みて

生活安全委員会委員長 上沼 文夫

長い2年間の活動が終わったというのが率直な気持ちです。現役の会社員としては、少し酷な役職であり、その責任の重さ、大きさに身が引き締まる思いがしました。4月になると連日会議が有り、単細胞の私は混乱し、過ぎていく時間に任せるだけでした。今になり振り返ってみると何一つ苦勞が感じられず、座光寺地域協議会や自治会組織のしくみが少し理解できたこと、内外共に多くの方と知り合えたことが大きな財産となりました。生活安全委員会の地域内の活動は思ったより少なく、外部との関わりが非常に多く感じます。座光寺の中では、小中学校・壮年団等で開催される事業の警備や活動協力でした。外部としては飯田市・市危機管理室・飯田警察署・飯伊交通安全協会・第2ブロック会

(松尾・上郷・鼎)があり、事業を開催する前に何回かの委員会が開催されます。2年間の活動の中で良かった一つは地域内の防犯灯304基中6基を残しLED化に出来ました。しかし、心配は当初設置した約200基余の寿命10年が迫っています。交換には多額の費用が発生するため積立基金を設けていますが足りない状況です。もう一点は、交通少年団・少年少女消防隊と一緒に毎年地区を替えてお年寄り宅へ防火防犯・交通事故に気をつけてと訪問し、手作りのチラシやりんごを手渡しました。足腰の不自由な方も玄関まで出て来られ感謝され、孫とじいさんばあさん、この光景は核家族といわれている中で微笑ましく感動し継続していきたい事業です。委員長を引き受けるにあたり、各地区から選出された委員は皆同じ立場であり、役員だけの委員会にならないように地域の事業は全員で行うように約束して頂きました。夏の炎天下での駐車場誘導など誰ひとり文句を言わず割り当てられた通り実行して頂き、各委員には頭を下げるだけでは感謝されません。まだ沢山の報告

や実情を記載したいのですが割り当てがありますので最後に、委員会も改善改革が必要です。今まで通りに進めれば良いでは進歩がありません。任期中に実行できなかつた改革は書けませんが次期委員会に期待して終わります。事務局を初めとして市職の方には多大なご協力ご指導を戴き有り難うございました。



交通少年団による声掛け (H25.11)

### 不法投棄と河川清掃

環境衛生委員会委員長  
石井善次郎

平成25年度春、環境衛生委員34名全員新人で不安の中で2年間の任期を地域の皆様方の御理解と御協力のもとに無事に終えることが出来ました。本当に有難うございました。

環境衛生委員が取組んだ事

業活動として月木曜日の集積所の管理・毎月2回年24回のアルミ缶回収などのリサイクルステーション・春秋2回のゴミゼロ運動の不法投棄の片付作業「環境美化重点路線」そして河川清掃等々あります。がこの中から2つの問題点について総括してみます。

まずポイ捨て不法投棄の主に多い場所として飯田市には63箇所が環境美化重点路線として指定されていますが、座光寺地域は山の神周辺、153号線牛牧境の両側、大堤宮崎地域の山林の3カ所でしたが、新たに昨年9月より小学校下稲荷坂の八百米が指定され4カ所になりましたが増えたことは良い事ではありますが増えせん。南大島川下流域阿島橋下には丸太材を使用した長いベンチとあずま屋、水道があり、公園となつていますが焼肉や飲酒などの後始末をしない汚した状態がたびたびあります。取締る規定が必要です。次に毎年6月初旬に行われる全市一斉の河川清掃ですが座光寺は土曾川、南大島川、欠野沢川に囲まれており、又上郷、鼎地区に比べて人口も少く作業面積が多いのが現状です。又地区の統合による作

業箇所の変動そして作業に当る人々の高齢化、作業の問題が生じています。又地区によっては出不足金の問題も出て来ています。一人暮らしの老人世帯や一人親家庭の増加など。そして不法投棄をなくす方法が必要です。



リサイクルステーションの様子

### 健康福祉活動に関わって

健康福祉委員会委員長  
矢澤 克彦

2年間地域の健康福祉の活動に関わらせていただきました。私達の取り組みの中に「住民支え合いマップ」がありました。住民相互の支え合いがありました。住民相互の支え合いの仕組みを築いていくもので、それは隣近所の人達がお互いに関心を持ち、見守り・助け合いながら少しでも孤立を防ごうとするものです。少子高齢化が進む中で、ますます重要な活動です。地域全体で見守り合うやさしい環境を

作るため、今後もマップ事業に御協力をお願いします。

今年の福祉講演会は「本場にやさしい社会とは」というテーマでした。福祉を受ける人が本当は何を必要としているのか、相手の立場にたった福祉活動が求められている、という内容のお話でした。経験の少ないいわれわれ委員も、委員会の事業をこなすための活動ではなく、福祉を受ける人がその人らしい暮らしを続けるための援助・協力である

### 交流親睦・学習への新たな企画

公民館委員会  
公民館長 塩澤 哲夫

活動の中で、新しい企画に取り組んできました。育成部では、「お茶摘み体験」「星空観察会」が好評でした。家中の皆さんで参加してください。さつたご一家がありました。文化部では、「大人の体験・ワインのテイスティング」を企画しました。参加費を値上げしても好評を維持しました。体育部では、地区体育係の皆さんの学習と交流を「二ニュースポーツ講習会」を企画しました。地区交流月間

と痛感しました。それができれば、人の心に届く活動になるとおもいます。

今回委員をやらせていただいたことにより、地域の健康福祉の実情に触れることができ、今後も様々な活動に参加・協力していこうという思いも持てました。良い経験をさせていただきました。終わりに、地域の皆さんひとりひとりが健康に留意し、いきいきと過ごされることを願っています。

に役立ててもらえたでしょうか。

広報部では、お知らせすることと記録としての広報紙を作成しました。読んで分かりやすい紙面になりました。運営委員会では、「恒川官衙遺跡を知ろう」「活かそう地域の宝々小布施に学ぶ」の話題でフォーラムを企画しました。公民館事業は、座光寺の多くの皆さんの参加を得ることで成立します。今後熱い想いを受け止めて企画運営していきます。2年間、公民館委員として活動していただいた皆さん、有難うございました。今後ともよろしくお願いします。

平成26年度

# 座光寺地域文化祭

1月31日(土)2月1日(日)の2日間にわたり座光寺地域文化祭が盛大に開催されました。地域で活動されている皆さんの成果の展示や発表。豪華なふるさとコンサート等、好天に恵まれ多くの方にご来場いただきました。



リニア駅と周辺地域の図も展示されました



毎年好評の福祉バザー



癒しのアロマハンドマッサージも人気



ふるさとコンサート「トリオ・ザ・Ichi」迫力のソプラノと演奏に圧倒！





飯田女子高校 音楽クラブ



高陵中学校 合唱部



リサイクル収入により、立派なスクリーンが自治会に寄贈されました



**もちつき体験**  
健全育成部 星野 利宏  
座光寺地域文化祭に合わせ、恒例のもちつき体験を行いました。子どもたちに臼と杵で餅つきをする体験をさせると



**思い出の発表**  
座光寺小4年 棚田 実利  
私は、本沢井のカナヘビやバッタのこと、除草剤の影響のことなど、多くの人に調べてきたことを知ってほしいと思いました。発表が始まる前、みんなを見ると緊張もほぐれて「よしやるぞ。」と思えました。私は、除草剤について調べたことを発表しました。会場の方々がうなずいて聞いてくれました。自分なりになっとくできる発表ができました。みんなもとても良い発表ができました。

**★子ども桜ガイド様**  
桜まつりに合わせて事前学習を行い、訪れる皆さんに桜や地域のことを知って頂く活動をしています。  
ガイド当日は積極的に歩み寄り、丁寧なガイドができました。



共に、地域の皆様への感謝の気持ちを表し、ついたお餅を皆様に食べていただいています。  
今年も子どもたちが楽しみながら餅つきをしました。小さな子どもは、育成部員が介添えをして杵を持ち一生懸命に餅つきをしました。これからも文化祭を盛り上げる行事として続けていきたいと思えます。



受賞された皆さんおめでとうございます

**★地域移送サービス**  
運転ボランティア様  
このサービスは地区内に居住する公共交通機関の利用が困難な高齢者及び障がいのある方の移送を援助するものです。活動は、申込みから車、ボランティアの手配まで主体的に行われ、この2年半の間に190回の移送を行いました。今後、利用者数の増加と女性運転手の担い手を確保することが当面の目標です。

**★唐沢地区様**  
地区のシンボルである蚕玉様への道を整備し、芝桜を植える活動をしました。また、通りに面した家庭の庭先にも植えられ、地区内の環境美化とおもてなしの心が表されています。

# 地域づくりフォーラムを終えて

公民館運営委員 原田 薫

今回の地域づくりフォーラムのねらいはズバリ！タイムル通りです。「活かそう！ふるさとのお宝」小布施に学ぶまちづくりという事で、リニアの駅が近くに出来る、恒川遺跡が国の史跡指定になった、このことをきっかけに改めて

座光寺にはどんなお宝があるのか、それを活かして人が集まる、住む人に優しいまちづくりをする為にはどうしたらよいのかを考えてみたいと思いました。

まちづくりの成功事例として小布施町があり、実際に見てみよう聞いてみようという事になり、運営委員で伺いました。視察の際には行政的な話が中心で、住民の立場で



小布施町の皆様による発表

活躍された方の生の声を聞きたい、御苦労された体験を座光寺の皆さんにも聞いて頂きたいとお招きした訳です。

5名の方々がみえて下さり、それぞれの立場で話をして下さいました。

オープンガーデンオーナーのお一人の方は、自分の家のボロ隠しのつもりで花を飾ったのがきっかけで、それを褒めて下さったので今に至ったと、みごとなお庭のようです。

まちづくり実行委員の方は、まちづくりの経緯として5つのポイントをあげて下さり、そのどれをとつても座光寺にはあると。マネをするのではなく本来ある宝を活用すればよい、今の時点では宝の持ちぐさであると言っておられました。

まちづくりは人が作るもの、その人達の気持ちが一つにならなければと。人が人を呼ぶ↓共感の輪(和)が広がる↓意識が一つになる、これが基になるものだ。

お話を聞いた後で、自分に

出来ることは何だろうか、どんな事なら出来るそうか考えて頂けるきっかけになればと希望しております。

## 大人の体験教室

～世界のワインを楽しむ～

# 大人のテイスティング

2月27日(金)

に、座光寺公民館で第2回の大人のワインテイスティングが大変盛り上がりま

した。ソムリエは、ワインの伝道師浜島晃氏。

浜島さんの司会でワイン6種類が順番に披露され、会場には座光寺の紳士淑女(？)が40名ほど集まり、世代を超えて歓談をし、楽しい時間を過ごせました。

最初は辛口のシャンパン、『アタンジェ・ブリュット・リザード』(5000円程)フランス産で始まり、『ローリー・ガスマン』(フランス産 白)、『シルヴァン・ロワシエ』(フランス産 白)、『ヴィラ・カファッジョ』(イタリア産 赤)、『ヴェルジニー・ド・ヴァランドロー』



気分はソムリエ？

2008『フランス産 赤』『テロー』(フランス産 貴腐ワイン)のワインリストでした。

どのワインも非常に個性があり飲みごたえがあり、ソムリエ浜島さんの話ではノーベル賞の授賞式の晩餐会に出されるワインと同じメーカー産とのこととちよっぴり晩餐会の雰囲気味わえたと思います。

各テーブルでは、色々の話で盛り上がり約2時間が非常に短く感じた模様でした。

また第3回の開催が行われることを望まれていたようでした。

今回の(大人のテイスティング)を開催してくれました塩澤館長はじめスタッフに感謝し、今後長く継続されていくと良いと思います。

(参加者男性)

## 飯田市民館大会に参加して

公民館運営委員 横前 泰子

基調講演は、吉本哲郎さんによる「地元学」による持続可能な地域づくりくれないものねだりからあるもの探しへ〜でした。

地域づくりに大事なことは、「ここには何もない」という先入観を取り去り、地元のことを地元の住民が自ら調べ、地域と人の持っている力に気づき、自分たちで地域の元気を創っていくことだそうです。

分科会では、公民館運営委員の長沼豊さんが話題提供をした第一分科会「人が支える地域づくり」へ参加した。

長沼さんは、体育委員会副委員長を皮切りに、20年以上に亘って公民館活動をされている。ただ長いだけでなく、活動経験を地域活動にも活かしている。このような方がいることを誇りに思った。



分科会で発表する長沼さん

# 団結力で唐沢地区が優勝 冬季ソフトバレーボール大会

今年度最後の体育部事業である冬季ソフトバレーボール大会が3月1日(日)小学校体育館にて開催されました。今年度は念願の優勝を唐沢地区が、準優勝は市場通り地区。第3位はNNK27、上野の両チームが勝ち取った。

## 「地区一丸となって」

この度、唐沢地区として久しぶりに優勝することができました。

私の力不足でメンバーは少数精鋭となってしまうましたが、長年の積み重ねで選手間の雰囲気もよく、練習日・試合・休憩中問わず和気あいあい、終始声が出ていました。個の力、チームの力合わせて結果を出すことができましたように思います。

一番の目的である(!? )慰労会も全員が参加できるよう二度行い、しっかりと和を深めることができました。

(唐沢地区体育委員 今村)



優勝の唐沢チーム



準優勝の市場通りチーム

## 「市場通り快進撃」

市場通りがまさかの準優勝!! 駅前・中市場・南市場が合併して市場通りとなり初のお飾りの付いた物を頂きました。

これも若いお母さん達を中心に、子どもと一緒に練習や大会に参加していただけたのだと思います。もちろんくじ運も味方に付けて。

大会当日は笑顔でみんなが参加できました。27年度も楽しくスポーツに興じて結果もついて来たら最高です!!

(市場通り地区体育委員 小林)

## 冬季ソフトバレー 大会を終えて

公民館体育部 長尾 浩一

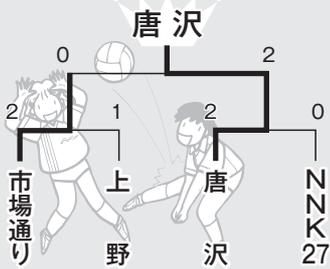
3月1日(日)、今年度最後となる体育行事の冬季ソフトバレー大会が行なわれました。各地区多くの皆さんに参加していただき、ありがとうございました。どの地区も世代を越えて楽しく交流ができたと思います。

来年度も体育行事を通して地区の親睦が深まる行事を企画していきますので、皆様のご協力をよろしくお願いします。



ナイスレシーブ!

## 決勝トーナメント表



## 声

投稿欄

### 厄年同年での 節分豆まき

元善光寺さんより依頼を受け、数え年42歳の厄年同年が鬼とおかめに扮し、地区内の節分の豆まきに廻らせていただきました。

例年は、2月3日の節分に元善光寺より鬼とおかめが出発してありましたが、平日のため、今年は1月31日(土)、2月1日(日)の2日間で行いました。

私たちが集まり、行事を行うのは久しぶりでしたが、2日間とも10人前後の同年が参加し、3組の鬼とおかめで地区内を巡回しました。

初めのうちは、勝手がわからず、どこかぎこちない鬼とおかめでしたが、地区の皆さんの優しい応対のおかげで何とかやり遂げることができ良かったです。あのお宅へ伺ったとき、鬼が来てくれたから今年はい



自治振興センター前にて

(市場通りYさん)

年だ」と言っていたいただき、待つていてくれる方々も大勢いるんだと感心し、できるだけ多くの軒数を目標に巡回できました。中には初めて鬼が来たと言ってくださる方もおり、私たちも嬉しく思いました。

2月3日には座光寺保育園に訪問。鬼たちの突然の登場に園内中大騒ぎとなりとても楽しい節分となりました。

今回の行事に参加したことで地区の皆さまと交流でき、とても貴重な体験をさせていただけました。

「地域の歴史にふれる」シリーズ⑩  
**国指定史跡・恒川官衙遺跡 (4)**

1 郡衙の機能とは、どのようなことを行っていたのでしょうか。

**郡の役目**

- ・ 農民の監督 ・ 戸籍、計帳の作成 ・ 班田収授（一般の公民に一定の規則によって田地を分け与え、死後にこれを返させた制度）の実務 ・ 租庸調（土地に割り当てて穀物を取り立てるのを租、人民を一定期間労使につかせるのを庸、家業に課して布などを取り立てるのを調）の徴収 ↓ 倉庫への保管 ↓ 郡への運搬 ・ 税の運用（出挙・稲を貸し付けで利息を取る） ・ 庸調や、必要物品（食器、紙、たいまつ、炭）などの生産 ・ 使者への供給、運送（宿つぎで、つぎで送る） ・ 馬の飼育 ・ 国への報告、郡内への命令の伝達 ・ 警察 ・ 訴訟、裁判 ・ 祭祀

**郡司とは**

- ・ 郡司：郡の役人。大領（長官）、小領（次官）、主政（1〜3人、主帳1〜3人の四等官）
- ・ 長官・次官は、昔からの有力な豪族（国造など）から採用された。（国造：国、郡の長）
- ・ その地方の有力な豪族たちが、

順番で長官、次官に就いていた。

**郡衙の様子**（恒川官衙遺跡）  
（郡衙の中心部）

- ・ 郡庁院（未発見）：政治の中心、儀式の場、公文書の管理などを行う。（平成24年度までに遺跡群内で、88個体出土、他の郡衙に比べ郡衙の仕事量が多かった。）
- ・ 正倉院：税（稲）を収める倉庫、管理施設など、国家権力を見せつける効果有り。（現在までに19棟確認されている。）
- ・ 館：役人の宿泊所、または、使者の宿泊、供給施設、厨房も付属していた。（厨推定地の側柱建物群、竪六建物が確認されている。）
- ・ 厨家：日常的な職員の給食、食料の調達、管理、食器の管理



曹司の場面（イメージ図）



恒川清水（イメージ図）

- ・ 曹司：日常的な役人たちの業務を行う。
- ※周辺も含めると40〜1000人くらいが勤めていた。
- ・ 工房：庸調や郡衙の必要物品を生産していた。
- ・ 神社（定額寺、寂光寺、未発見）：鎮守（その土地、寺院の守り神）
- ・ 祭祀場（恒川清水）：わき水付近で、水辺の祭祀を行っていた。（恒川清水の南祭祀関連遺構からは、多数の土器、石制模造品、木製品が出土しました。木製品には祭祀具の舟形、鳥形、刀型、馬型、鏃型、斎串があつて郡衙の祭祀場でした。）
- ※そのほか、郡衙近辺にあつたもの。
- ・ 古墳（高岡古墳を中心に多数あり）：郡司となつた豪族の祖先の墓。
- ・ 軍寺：郡の中心的な寺院、豪族の集う場所でもある。

**郡衙のあつた期間**

- ・ 7世紀半ば〜8世紀のころにできた。
- ・ 8世紀後葉に郡庁が衰えだし、9世紀終わり頃にだいたいの終わる。

2 伊那郡衙とその役割

**伊那郡衙の特徴的な役割**

- (1) 交通機能
- ・ 伊那郡衙から次の諏訪郡衙までは70km以上も離れている。
- ・ 伊那郡衙から恵那郡衙は神坂をはさんで距離も離れている。
- ※これから伊那郡衙には重い交通上の負担があつた郡衙に置かれた馬も、通常の倍10匹。
- (2) 馬の管理
- ・ 信濃国は、古墳時代から天皇（大王）とつながりの深い牧がたくさん設けられた。
- ・ 奈良時代の中頃には、伊那郡大領（金刺舎人八麻呂）が信濃国の重要な牧をまとめていたと思えます。
- （調査史料・写真等他・飯田教育委員会より提供いただいています。）

座光寺史学会 片桐直夫

【訂正とお詫び】前号、天平神護元（765）（正六位上金刺八麻呂に外従五位をうけたとありますが年号は（675）のまちがいでした訂正とお詫び申します。

**編集後記**

平成26年度も終わろうとしています。あつという間の1年間でした。

3月は師走の忙しさと同様、卒業、転勤・異動、入学、引越等、物事が決定してから次の行動までにつっくり考える間もなく、時間に追われてしまします。

今年度最後の広報座光寺32号をお届けすることができました。広報誌の発行は、情報の共有や地域の歴史を綴る資料として重要な物という考えから、事業の結果にとどまらず、地域が再発見できる話題から人材発掘・活動紹介・問題提起まで、豊かな紙面作りに取り組んでまいりました。とはいっても、編集のノウハウを持たない私は、広報部員になつて最初に、その作り方から学習会をして頂きました。まだよく理解できてはおりませんが、優秀な広報部員の皆様のおかげで、地域活動に参加させていただけたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。東日本大震災から地域の絆の大切さを再認識して4年が経ちました。（広報1）

